

政治学概論Ⅰ

(2) 公権力と支配

権力とは = 人を動かす力 (時として強制に近い)

例・会社の上司（人事権・業務命令）

権力者 = 組織やグループの中で（一定のルールに基づいて）人を従わせることができる

例えば警察官・税務署職員とはどう違うか？

交通違反を取り締まる「権力」

権力と支配＝マックス・ウェーバー

19世紀末＝20世紀初頭ドイツの社会（経済・政治）学者

- 支配の三類型

- カリスマ的支配＝属人的・個人的な能力が権力の正統性
- 伝統的支配＝長年の風習、身分、共同体の秩序など
- 合法的支配＝法律による正統性、近代の官僚制

「法の支配」法を民意で決定するのが近代の民主主義
ただし、民主主義の中でも「カリスマ性支配」は起こり得る
「伝統的支配」も残っている

権力から「公権力」へ

「法に基づく支配」 公的な強制力＝法律の裏付けが必要

平等な国民による選挙→政権（administration）

議会での立法→公共の政策（民主主義）

「カリスマ・伝統支配」の脱却 「法治国家」 人治は×

公権力の恣意的な運用を防ぐことが民主主義の要諦

＝三権分立、政権交代、報道・言論の自由

「公権力」の行使と「法の支配」

■公権力の及ぶ範囲（通常は国の領土内）では、その法律には従わなければならない。

「その法律に反対」でも法律違反の自由はない。

■公権力の行使（強制力を含む）は、法律に従って行われなければならない。

一方、民意によって法律を変える政治的行為が民主主義では可能になる